

株式会社ストーク

札幌市東区の株式会社ストークは、真空パネル暖房機を製造・販売している。この暖房機の特長は、セントラルヒーティングよりもコストを抑えられ、温風式暖房機のように空気を乾燥させず、低コストで省エネ、健康的であること。同社は、同暖房機のさらなる性能アップを図るため、その主要部品であるバーナーの長寿命化に向け、新たな材料・構造による試作・試験を行った。

真空パネル暖房機における 長寿命バーナーの開発

北海道発・世界初の真空パネル暖房機

真空パネル暖房機は、減圧したパネルを小型バーナーで加熱することで、パネル内部の水分の蒸発と凝縮に伴う作用によりパネル全面を素早く均一に暖めることができる、世界初の暖房機である。灯油でもガスでも運転でき、セントラルヒーティングと異なり各々の暖房機に独立したバーナーを搭載していることから個別暖房が可能であり、やわらかな輻射熱で室内を暖め、パネル表面が高温にならず安心して使えるといった利点がある。

同社では、少人数の社員でメンテナンスに対応するため、良好な室内環境や省エネへのニーズが高い公共施設や福祉・医療施設を中心に業務用暖房機として真空パネル暖房機をアピールし、これまで道内や東北地方の学校や老人ホーム、病院などに採用されてきた。旭川市の旭山動物園では「かば館」の暖房に採用されるなど、厳寒地での動物たちの環境づくりにも貢献している。

省エネ型健康暖房を札幌から全国へ発信

真空パネル暖房機は、特殊な構造により安全性を追求しているため、同社が設けた資格を保有する者しか整備・点検ができない。そのため、今後販路を拡大し普及を図っていくためには、より耐久性の高い機器へと改良する必要があった。そこで、心臓部であるバーナー部分の耐用年数を従来の倍にすることを目標に掲げ、ゼロベースで材料や構造の見直しを行った。そうして新たに開発したバーナーは、試作品を実機に搭載しての運転試験、性能評価を行い、信頼性の確認も完了した。

今後は、新製品として販売を開始していくほか、既に納入済みの製品についても、メンテナンス時のバーナーの入れ替え等を想定しており、順次販売を拡大していく予定である。また、電気式の真空パネル暖房機も開発が完了しており、そちらについては将来的に道外の施設や戸建住宅に普及を図っていく考えだ。



真空パネル暖房機

着実に販路を拡大し 真空パネル暖房機の 定着を目指します

代表取締役 阿部 壮一



製造業は良いものを作ることだけに目を向けがちですが、作ったものを売る工夫も大切です。オンリーワンの「製作品」を、大量生産できる「製品」に変え、不特定多数のお客様にご利用いただくことが、事業を発展させていくためには必要です。今後も、マーケットを重視し、ユーザーの皆様がお求めやすく、使いやすい製品を開発していきたいと思っております。